

めぐみイエス・キリスト教会

2019年5月26日(日) 第四主日礼拝
週報「通算第457号」



2019年標題聖句

第Ⅱ ペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまりくことなど決してありません。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年5月26日 第四主日礼拝
第一礼拝 午前10時 第二礼拝 午後6時
司会・奏楽 鈴木 竜実牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

- 【前奏祈祷】
- 【賛美Ⅰ】 新聖歌363「わが身の望みは」 p. 582
- 【交読文】 No.35 詩篇第110篇 p. 907
- 【賛美Ⅱ】 新聖歌148「夕べ雲焼くる」 p. 206
- 【使徒信条】
- 【主の祈り】
- 【先週説教】
- 【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.1「ビジョン」
- 【聖書朗読】 使徒の働き1章4節～5節(新約p. 208)
- 【祈 禱】
- 【説 教】 《彼らと食事を共にしている時》 鈴木竜実 牧師
- 【聖餐式】
- 【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236
- 【平和祈り】
- 【頌 栄】 新聖歌63「父・御子・御霊の」 p. 85
- 【祝祷後奏】

◎本日の聖書箇所【使徒の働き1章4節～5節】(新約p.208上段)

1:4 彼らと一緒に(食事を共にして)いるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、私から聞いた父の約束を待ちなさい。

1:5 ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」

●ポイント1. シモン・ペテロの告白から

※使徒の働き10章39節～41節「コルネリオへの言葉」(新約p.228下段)

10:39 「私たちは、イエスがユダヤ人の地とエルサレムとで行なわれたすべてのことの証人です。人々はこの方を木にかけて殺しました。

10:40 しかし、神はこのイエスを三日目によみがえらせ、現われさせて下さいました。

10:41 しかし、それはすべての人々にではなく、神によって前もって選ばれた証人である私たちにです。私たちは、イエスが死者の中からよみがえられて後、ご一緒に食事を(食べたり飲んだり)しました。」

●ポイント2. 聖餐式の制定とイエス様の弟子たちへのメッセージ

※ルカの福音書22章14節～20節「最後の晩餐の時に」(新約p.148下段)

●ポイント3. 復活後、弟子たちは主イエス様と何回食事をしたのか？

※ルカの福音書24章41節～43節「一回目の現われ」(新約p.156上段)

24:41 それでも、彼らは、うれしさのあまりまだ信じられず、不思議がっているので、イエスは、「ここに何か食べ物がありますか。」と言われた。

24:42 それで、焼いた魚を一切れ差し上げると、

24:43 イエスは、彼らの前で、それを取って召し上がった。

※マルコの福音書16章14節 「二回目の現われ」(新約p.94下段)

16:14 しかしそれから後になって、イエスは、その十一人が食卓に着いているところに現われて、彼らの不信仰とかたくなな心をお責めになった。それは、彼らが、よみがえられたイエスを見た人たちの言うところを信じなかったからである。

※ヨハネの福音書21章12節～14節「三回目の現われ」(新約p.206上段)

イエスは彼らに言われた。「さあ来て、朝の食事をしなさい。」弟子たちは主であることを知っていたので、だれも「あなたはどなたですか。」とあえて尋ねる者はいなかった。

イエスは来て、パンを取り、彼らにお与えになった。また、魚も同じようにされた。イエスが、死人の中からよみがえってから、弟子たちにご自分を現わされたのは、すでにこれで三度目である。

※ヨハネの黙示録3章20節 「主イエス様の約束」(新約p.441下段)

◎先週のメッセージの概要【指示された山とは？】

《イエス様が、ゲッセマネの園に向かわれる時、弟子たちに語った預言は、「私は、よみがえってから、あなたがたより先にガリラヤへ行きます。」でした。

そして、よみがえられた日の朝、イエス様は女たちに現われて、「恐れてはいけません。行って、私の兄弟たちに、ガリラヤに行くように言いなさい。そこで私に会えるのです。」と言われたのです。

そして今日の聖書箇所において、『十一人の弟子たちは、ガリラヤに行つて、イエスの指示された山に登った。』とマタイは書き記していますが、主イエス様のこの弟子たちへの現われは、四回目となります。

イエス様は、ガリラヤ湖畔における三回目の弟子たちへの現われの時に「山」に登るように指示されました。それではイエス様が指示された「山」とは一体どこの山を指すのでしょうか。

イエス様が変貌された山と言われるヘルモン山は、ガリラヤからさらに遡つた場所であつて、そこはフェニキアに属しますから、明らかに違ふと言えます。

実はガリラヤ湖周辺には高い山はないのです。よつて「山」と言うよりも「丘」であつた可能性は非常に高いと、尾山令仁先生は言われます。

さてルカは、主の十二使徒の召命について、このように書き記しています。『この頃、イエスは祈る為に山に行き、神に祈りながら夜を明かされた。夜明けになつて、弟子たちを呼び寄せ、その中から十二人を選び、彼らに使徒という名をつけられた。』と。

ここに出て来る「山」こそが、イエス様が、弟子たちに指示された山となります。十一弟子たちが、かつてと同じように、その山に登つた時、イエス様が現われました。そして彼らは礼拝したのです。その時イエス様は、十一弟子たちを十一使徒として、再任命されたのです。そして約束されたのです。

「私には天においても、地においても、いっさいの權威が与えられています。見よ。私は、世の終わりまで、いつも、あなたがたと共にいます。」と。この約束は彼らだけのものではなく、今生きている私たちにも当てはまるのです。》

◎お知らせ

※次回礼拝は6月2日(日)となります。6月16日(日)の第三主日礼拝は、メイン礼拝が午後礼拝(斉藤順子先生)となり、午前礼拝はメッセージはありません。また次回の「聖書の学びと祈り会」は5月29日(水)午後6時15分からです。